

医療介護保健に係る政策検討及び東胆振地域医療介護等広域連携 ネットワーク構築支援業務 提案書作成要領

1 業務名

医療介護保健に係る政策検討及び東胆振地域医療介護等広域連携ネットワーク構築支援業務

2 企画提案書の作成、提出

次に掲げるところにより企画提案書等を作成し、提出するものとする。

(1) 企画提案書（任意様式）

- ア A4判、片面印刷で25ページ以内とし、ページの通し番号を付すこと
- イ 文書の補完のために写真、イラスト等を用いることも可とする
- ウ 企画提案は、一企画提案者につき一つ限りとする
- エ 企画提案書の提出期限後の訂正、追加、差替え及び再提出は認めない
- オ 表紙、目次及び参考見積書はページ数にカウントしない
- カ 文字サイズは10ポイント以上とする
- キ 評価基準に定める項目と合わせ提案書を作成すること
- ク 3年分の提案を作成すること

(2) 参考見積書

- ア 仕様書に定める各年度の提案上限額以内で見積りを行うこと

3 企画提案内容

本業務仕様書の条件を満たす内容とし、次に掲げる項目順に提案すること。

(1) 基本的な考え方、実施方針

ア 本業務への理解

効率的、効果的な業務の実施に向け、医療政策、包括ケア、多職種連携、医療DXに対する基本的な考え方やコンセプト、想定される課題、実施方針を示すこと

イ 国・北海道の動向の把握

国・北海道の地域医療構想や医療DXについて動向を把握し、基本的な考え方、実施方針を示すこと

イ 本市への現状把握

本市の医療・介護資源について現状を把握し、基本的な考え方、実施方針を示すこと

ウ 支援実績

構想等策定や医療政策立案における自治体への支援実績を示すこと

(2) 具体的な業務実施方法

ア 実施手順

現状把握、課題の掘起し、医療政策等における目標設定など業務目的の達成のために必要な手順を示すこと

イ スケジュール

上記の手順について、スケジュールとして日程を示すこと

スケジュールにおいては、準備や実施に十分な期間が確保されるように設定すること

ウ 具体的手法

(ア) 調査分析

医療政策の検討にあたり、どのように現状や課題を把握するか、その対策をどのように検討するか具体的に示すこと

(イ) 構想等検討

調査分析内容を踏まえ、構想等において客観的、効果的に課題や対策を示す具体的な手法を示すこと

(ウ) 構想等策定会議実施

医療政策の検討にあたりステークホルダーの調整や調査分析を踏まえた構想等となるよう会議が実施できるよう具体的な取り組みを示すこと

(エ) ネットワーク構築伴走支援

東胆振地域医療介護等広域連携ネットワークを構築するための効率的、効果的な支援方法を示すこと

(3) 実施体制

ア 会社概要

会社概要、経営状況（収支）、従業員数、資本金額など業務を遂行できる会社規模であるか示すこと

イ 実施体制

調査分析や、構想等検討、構想等策定会議実施、ネットワーク構築伴走支援を行う人数や役割など具体的な業務執行体制を示すこと

本市との役割分担を示すこと

(4) 見積金額

見積書により仕様書の業務内容に応じた業務実施に必要となる委託料の内訳を示すこと。見積内容は提案内容との整合性が取れていること

4 提出

(1) 提出部数 14部

(2) 提出場所 苫小牧市健康こども部健康支援課
苫小牧市旭町4丁目5番6号

電話：0144-32-6407

(3) 提出期限 令和8年3月31日（火）午後5時15分（必着）

(4) 提出方法 提出場所に持参もしくは郵送

※郵送の場合は、書留又は簡易書留による。

5 問い合わせ先

上記、提出場所と同じ。